

3

仙台北部道路のこれから

仙台北部道路の未来に向けた取り組み

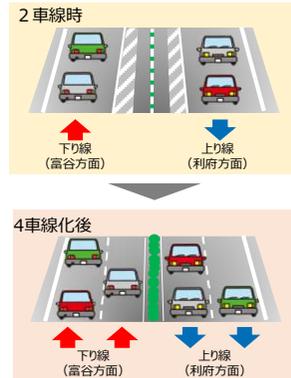
- 仙台北部道路は、全線が暫定2車線で開通しており、利府しらかし台IC～富谷JCTで4車線化工事を進めています。
- 4車線化の開通により、暫定2車線の抱える課題の改善とともに、連続する三陸沿岸道路（仙塩道路）の4車線化開通と合わせて、富谷～仙台港方面の更なる利便性の向上が期待されます。
- また、東北自動車道をはじめ管理する高速道路の約4割が供用から30年を超過し、老朽化や劣化が顕著のため、高速道路リニューアルプロジェクトの推進を支援します。

仙台北部道路の4車線化



【4車線化により期待される効果】

- 走行性・時間信頼性の向上
- 安全性の向上
- 道路ネットワークの代替性の確保 他



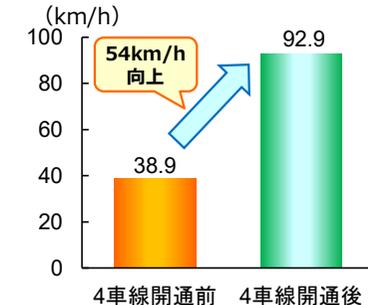
出典：社会資本整備審議会道路分科会 第49回国土幹線道路部会資料（2021年3月10日）を加工して作成

三陸沿岸道路（仙塩道路）の4車線化 整備効果事例



4車線開通前後の平均速度の変化

〔利府JCT⇒仙台北IC（夕方ピーク）〕



※民間プローブデータ（開通前：2015.4～9平日17～19時、開通後：2016.4～9平日17～19時）
出典：仙塩道路4車線化ストック効果記者発表資料（2017年4月12日）を加工して作成

仙台北部道路の4車線化により期待される効果

低速車両による全体的な速度低下が改善



重大事故となる傾向が改善



災害復旧工事時における通行止めや片側交互通行が改善



死傷事故率が改善

三陸沿岸道路（仙塩道路（仙台北～利府中））



出典：NEXCO東日本調べ（暫定2車線：2012年～2015年、4車線：2019年～2022年）
出典：「暫定二車線区間の現状と課題」国土交通省（https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/front_accident/pdf01/04.pdf）

沿線地域消防本部の声

片側1車線のため、仙台北部道路で災害が発生すると通行に支障がでます。重大事故発生時、現場に到着できないことがあります。 出典：2023年関係機関ヒアリング調査

道路利用者の声

配送先の時間が決められており、事故が起きると通行止めや迂回などのリスクが大きいため車線を増やしてほしい。 出典：2023年聞き取り調査

高速道路リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）



《大規模修繕》

高速道路の古い構造物を最新の技術で補修・補強することにより、建設当初と同等またはそれ以上の性能・機能を回復するとともに、長寿命化を図ります。



《大規模更新》

高速道路の古い構造物を最新の技術で再施工することにより、現在の新しい構造物と同等またはそれ以上の性能を確保し、機能維持と性能強化を図ります。



出典：NEXCO東日本調べ